

# 広報 かなた

かんどう・なかよし・だいすき

2000  
7/1号  
N0404

ネーミング募集!

河川公園に、もぐり橋（仮称）が彦山川、中元寺川合流点付近に完成しました。この橋には、まだ名前がありません。ぜひ、この橋に名前を付けてください。

応募方法は次のとおりです。

◆応募の締切は、7月15日まで

1. ハガキにて応募

「橋の名前」、住所、氏名、年齢、電話番号を書き、役場企画開発課まで応募する。

2. 電話にて応募

役場企画開発課 ☎22-0556まで応募する。

## ごあんない

(P 2~5) ……川がはらん・その時どうする

(P 6~11) ……まちのわだい

(P 12~13) ……お元気ですか? 食進会です

(P 14~15) ……みんなのひろば

(P 16~19) ……くらしの情報



福岡県金田町

# 川がはんぶん

## その時・どうする!(水防)

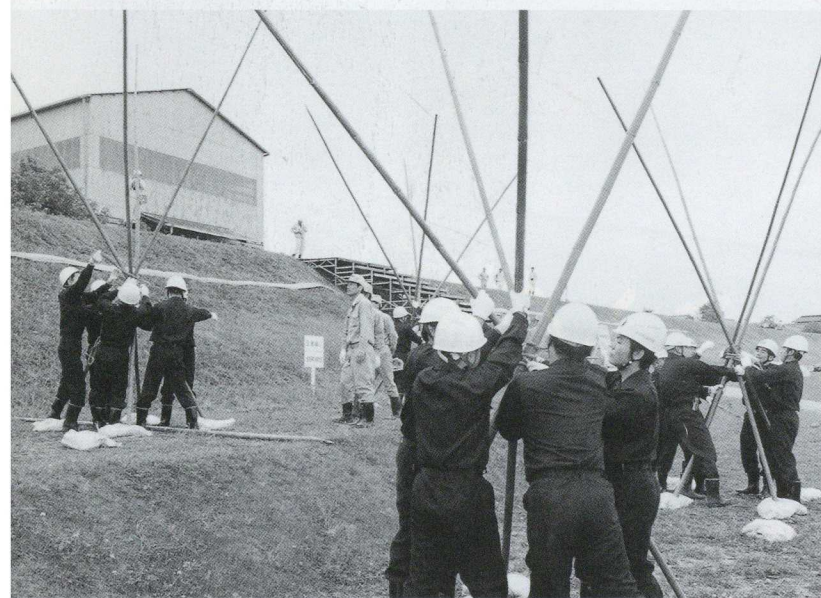
### 遠賀川水系水防演習

「局地的集中豪雨が降り、金田町人見の中元寺川付近の堤防の決壊のおそれがある。」という想定で、田川1市8町(赤村を除く)の水防管理団体と、田川地区消防本部、陸上自衛隊飯塚駐屯地による遠賀川水防演習が5月28日に、彦山川・中元寺川合流点河川敷で行なわれました。

金田町からは、26人の消防団員が参加し、川裏の亀裂、崩壊の拡大を防ぐ「五徳縫い工法」を行ないました。演習とはいえ、みなさん本番さながらの緊張感の伝わる実演を行ないました。

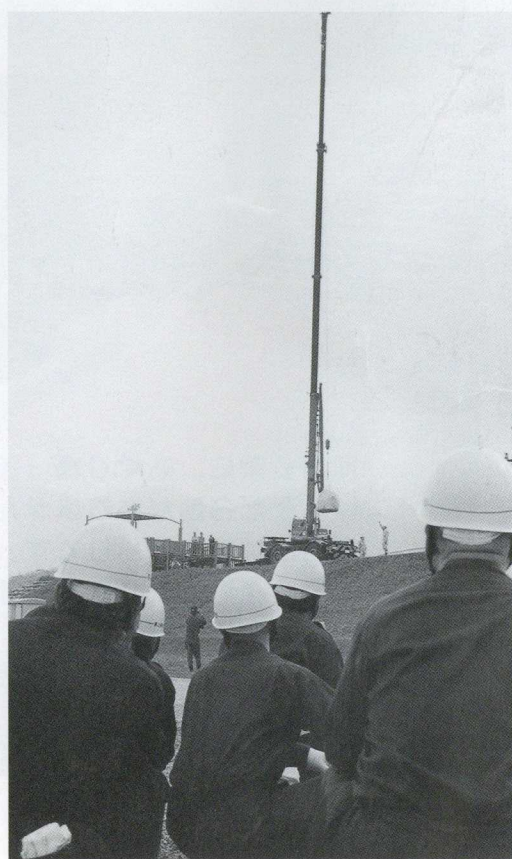
この演習は、遠賀川水系水防演習協議会(建設省遠賀川工事事務所、福岡県、流域市町村)の主催で、遠賀川水系を4つのブロック(田川、嘉飯山、直鞆、北九中間)に分け、会場を持ち回りで変え毎年行なわれていますが、今年は田川地区が会場年で、金田町で行なわれたものです。

一概に、水防とはいっても、色々な工法がとられます。その工法を紹介します。



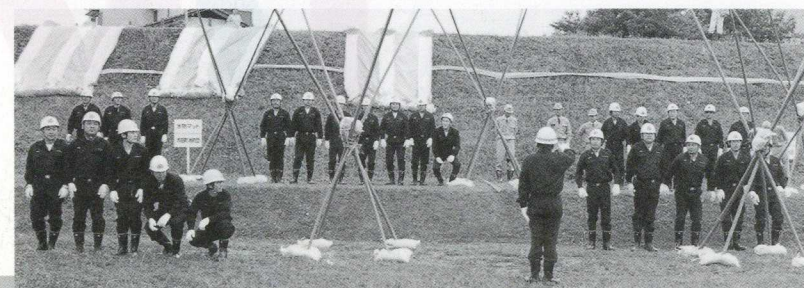
#### 五徳縫い工法

河川の裏手にあたる(民家側)の亀裂、崩壊の拡大を防ぐ工法で、亀裂をはさんで3~4本の竹を地盤に深く差し込み、写真のように1m位のところで1つに縄で結び、その上に土のうのをせ安定させて、地盤の亀裂の拡大を防ぎます。



#### 大型土のう投入工法

大型土のう投入工法は、クレーンを使って大型土のうを堤防崩壊面に投入し、流水の勢いをやわらげ、堤防の崩壊を防ぐ工法です。



#### 木流し工法

急流部において、流水の勢いをやわらげ堤防斜面の崩壊の拡大を防止する工法で、枝葉の茂った木を切りたおし、枝におもりとなる土のうをくくりつけ、堤防上にとめ杭を打ち、これにロープでくくりつけ流れに沿って流しかけて、崩壊面が洗い流されることを防ぎます。



#### 月の輪工法

河川の裏手にあたる(民家側)斜面のわき水を、土のうにより堰を築き上げ、浸透水の圧力を弱める工法で、漏水口の周囲の斜面を土のうにより半月状に積み上げ、この中にわき水をいったん留めてわき水の水圧を弱め、斜面わき水口の拡大を防ぎます。



#### 水防マット工法

堤防の斜面の崩壊および、水がしみ込むことを防ぐ工法で、マットの下端におもしとなる土のうを取り付け、マットの上端に竹かパイプを通し、ロープで結び堤防上の留め杭より垂れ下げ固定し、斜面の崩壊を防ぎます。



#### 改良釜段工法

河川の裏手にあたる(民家側)のわき水の圧力を弱める工法で、わき水口の中心部に釜段を敷設し、この中にわき水を留めて、オーバーフローさせ、地盤が洗い出されるのを防ぎます。

#### 簡易パラペット工法

堤防を超えて水が流れ込むのを防止する工法で、堤防上を写真のように、特殊な金具を平行につなぎ、そこにパネルをはめ込んで、浸水を防止します。



### 土のう積工法

堤防を超えて水が流れ込むのを防止する工法で、土のうを前段に並べ、後段をずらして継ぎ目をふさぐように並べ、またその後段に継ぎ目をずらして並べることで、浸水を防ぎます。

### 改良土のう積工法

堤防を超えて水が流れ込むのを防止する工法で、堤防上に防水シートを張り、1m間隔に鉄鋼杭を打ち込み固定させ、その内側に土のうを数段積み上げ、さらにその後ろに数段の土のうを積み、中に土砂を入れて安定させ、浸水を防ぎます。

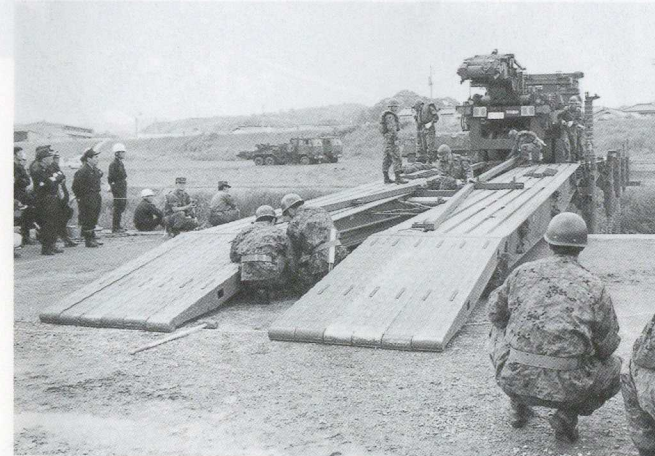
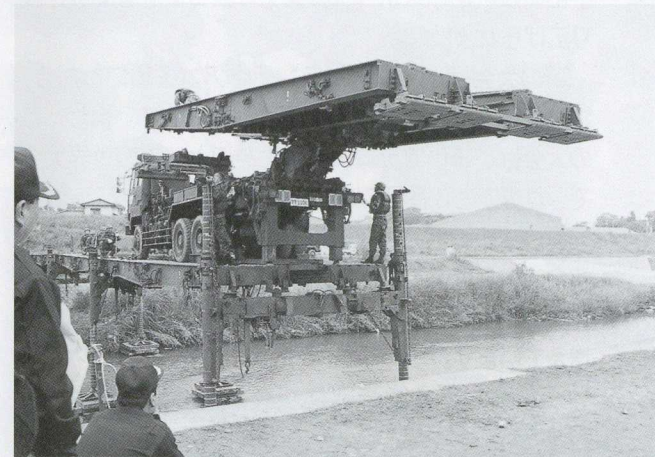


### ラバーマット工法

河川の増水や高潮による浸水を防ぐ工法で、ラバーマットを堤防上に敷き、マットにポンプで水を注入し、固定杭にロープで固定し、浸水を防ぎます。

### 救助救出訓練

田川地区消防本部のレスキュー隊により、『中州でキャンプ中の家族が増水により孤立し、救助を求めている。また、救助現場への進入路で小規模のガケ崩れが発生し、乗用車1台が崩れた道路側壁に押しつぶされ、乗車内には男性1人が、下半身を挟まれ助けを求めている。』との想定で、救助救出訓練が行なわれました。



### 自走架柱橋

陸上自衛隊飯塚駐屯地により、『河川の増水により、橋が崩壊し対岸へ車両が通行が不可能になった。』との想定により、架設の橋が架けられました。この橋は、42トンの重量まで耐えることができます。

### 夏本番！風水害への備え整っていますか？

夏は台風や、集中豪雨が発生しやすく、大雨による洪水や、土砂災害、暴風雨による被害が出やすくなります。

家の周りの危険箇所や、地域の非難場所などをチェックしておき、イザというときのために家族の方と話し合っておくことも重要です。また、台風が近づいてきているとき、気象情報をキャッチするために、携帯ラジオの電池切れなどもチェックしておきましょう。

日ごろから備えておきたいものとして、懐中電灯、ラジオ、非常食、現金、通帳、救急用品、水、衣類などを備えておくことも重要です。

